

2024-25年度クラブ目標

『思いやりがある 感謝のロータリー』

創立1986年



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘  
幹事 十文字 光伸

## 第1827回例会

令和6年10月24日 (18:30~19:30)



○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 米山記念奨学生 りんめい き 林明輝様

○スマイルBOX

- 阿部克弘会長 (本日は米山記念奨学生の林明輝さんご来訪そして卓話有難うございました。)
- 十文字光伸幹事 (本日は林明輝様、卓話ありがとうございました。)
- 永野文雄会員 (例会担当の米山記念奨学会の皆様ありがとうございます。林明輝君頑張ってください。)
- 成井正之会員 (林明輝君本日は卓話ありがとうございます。将来、中国と福島懸け橋となり学友としての活躍を期待しています。)
- 金田昇会員 (米山記念奨学生林君、卓話ありがとうございました。本日はロータリーポリオデーです。)
- 居川孝男会員 (先週二本松RCとの今シーズン最後の野球試合を行ない親睦を深めてまいりました。参加した皆様お疲れ様でした。)
- 山田顕一郎会員 (白河に戻る前に勤めていた会社の先輩に呼ばれて埼玉の山奥で一年三か月振りぐらいにゴルフをしてきました。前半ハーフは80近くたたきましたが、後半ショートホールで奇跡的にパーが取れたことで多くスマイルします。)

▶第1827回例会出席状況 (R6年10月24日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	53名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	72名
Ⓒ ①の出席者数	20名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	12名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	32名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	65
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	49.2%



10/24 本日のメニュー

- ・彩サラダ
- ・イカとしめじの味噌炒め
- ・豚カツの卵とじ
- ・白飯
- ・なめこと豆腐の味噌汁
- ・香の物・フルーツ二種

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

阿部克弘会長



本日もお忙しい中、出席をいただき感謝申し上げます。

それでは本日のお客様をご紹介します。

国際ロータリー第2530地区・2024年度米山奨学生・世話クラブ・二本松あだたらロータリークラブの林 明輝さんです。後ほど米山記念奨学会委員会の成井委員長より詳しくご紹介があると思います。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対して日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し外国人留学生を支援する、民間最大の奨学財団です。1952年12月に東京ロータリークラブが日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して米山奨学制度を設立したのが始まりと言われております。

奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となる事が期待されますとありますので、ぜひ林さんにもそのようになっていただきたいと思っております。

さて白河西ロータリークラブも2020年4月から2021年3月までですから、中目年度から吉野年度にかけてミャンマー出身の自動車整備士を目指すチョー・ナンドー・トゥンさんの世話クラブになり私がカウンセラーとなりました。

チョーさんとは2020年5月14日に初めて当時のここホテルサンルート白河で私たち夫婦と会いました。それから1年間お付き合いをさせていただき様々な交流をしました。当然、例会にも参加して貰いました。また私の家に来て前の愛犬ホヌと遊んだり、私たち夫婦と愛犬ホヌがチョーさんの住んでいるアパートに招待を受けてミャンマー料理を振舞って貰ったりと良好な関係を築かせていただきました。去年、愛犬ホヌが亡くなった時にも米山奨学生になったころよりも前からお付き合いをしていて、やはり同じ国の整備士を目指していた男性の方と一緒に11月4日にわが家に来てくれて愛犬ホヌとのお別れをしてくれました。つい最近

も連絡があり本来であれば今日の例会にお邪魔をして皆さんにお会いしたい希望を持っていましたが、現在も郡山市に住んでいる友人と都合が合わず願いが叶いませんでしたが、次回はぜひ皆さんとお会いをしたいと申ししておりましたので、機会が合えば例会に呼んでお話をして貰えれば良いなと思っております。

チョーさんは在学中から猛勉強をして自動車整備士の国家資格を取得し埼玉県にある自動車ディーラーで仕事をしておりましたが、ちょっと合わないという事でお辞めになり現在は休職中ですが、新たな仕事を当然に自動車整備士の仕事を目指して頑張っております。

そんな事で今日はチョーさんのお世話をした時の話をしましたが、林さんには奨学生になった時の詳しい経緯や体験の話をしていただけたらと思っておりますので楽しみにして会長の時間を終わりたいと思いません。

本日も宜しくお願い致します。

### ■幹事報告

十文字光伸幹事



○米山記念奨学会理事長 若林紀男：  
10月米山月間資料のご案内

○白河市国際交流協会会長 内藤義久：  
令和6年度白河市国際交流会会費納入のお願いについて／「国際文化理解講座台湾」開催について／「白河市国際交流会会報vol.27」の送付について

○ガバナー 早川敬介：地区大会本会議（ユラックス熱海）への行き方について／2024-25年度地区大会登録開始時間の変更について／地区大会大懇親会会場への移動について／国際ロータリー第2530地区公式キャラクター完成のご案内と名前募集／MyROTARYオンラインセミナーのご案内

○地区財団委員会委員長 林克重：ステファニー・アーチック R I 会長から世界ポリオデーについてのメッセージ

○R I 会員増強担当部：ロータリー入会候補者情報プログラムに加えられる変更について

○福島民友新聞社：国際ロータリー第2530地区大会特集新聞広告ご協賛のお願い

○ロータリー日本財団：ロータリー日本財団寄付明細書

## ■各委員会報告

### ○親睦活動委員会

吉成真五郎委員長



皆さん、こんばんは。親睦委員会から来週のJ C・Y E G交流例会の件でご報告をします。バスが新白河駅から17時50分、白河駅18時出発となっております。今から、バスと出欠の確認のボードを回しますので、皆様ご記入のほうよろしくお願ひいたします。会場は「シン鹿島」のほうになっておりますので、お間違ひのないようお願いいたします。あともう一つ、これ出席委員会としてなんですけれども、11月3日の地区大会。こちら今、幹事のほうからご報告ありましたように8時20分登録開始となっておりますので、バスのほうが新白河駅を7時10分、白河駅を7時20分に出発するようになっておりますので、後でまた皆様のほうにはもう一度流しますけれども、そちらでご予定を組んでください。よろしくお願ひいたします。

## ■本日のプログラム

### ○米山記念奨学会委員会担当例会

米山記念奨学会委員会

成井正之委員長



皆さん、こんばんは。本年度、米山奨学会委員会の委員長を務めております成井でございます。本来ですと、今月21日、22日、米山梅吉記念館のほうに研修旅行に行く予定で、その発表をする訳だったんですが、募集をかけたところ、平日なために人数が集まらない。募集したら3人しか来なかったという事で急遽断念いたしまして、米山奨学会の2530地区の吉田委員長にお願いをしまして、二本松あだたらロータリーの林明輝君を派遣してくださいという事で派遣をお願いしまして今日に至りました。皆さんのとこに卓話に入る前に、今日はレターボックスの中に豆辞典を入れてあると思います。是非ご覧になっていただきたいんですけども。今月は、米山奨学会の強化月間であります。その中に、趣旨の部分は皆さん何回も読んでるかと思うんですが、先程、会長がほとんどお話してしまったので私からまた言うとかぶりしますので、ここは端折らせていただきますけども、3ページと4ページ、これは必ず読んでいただきたいと思っております。やっぱり米山記念事業のどういう趣旨でどういう形でやるかという事を書いてあります。

そして、どんな規模でやってるかということも書いてあります。案外皆さんこれいただいたばかりで、ほとんど貰ったまま読まないで捨てるのが多いんじゃないかなと思います。是非、ご一読いただければ、どうしてこういった事がなってるのかってことがわかるかと思ひます。そういうわけでありまして、私からは米山の豆辞典についてはその程度にしておきます。今日の卓話のゲストの林明輝君のプロフィールを紹介します。2024 - 25年世話クラブ二本松あだたらロータリークラブで、福島大学共生システム理工学類物質科学科コース4年、物質創生研究室と非常に難しい勉強してるのかなと思ひますけども。テーマは「四川から福島へ留学の旅路と未来への展望」という事で今日卓話をいただくことになっております。米山奨学生は、地区の選考委員会の中で厳しい選考で選ばれた素晴らしい優秀な学生だけなんです。是非、林明輝君にはこれからお話をいただきますけども、是非皆さんこれからも交換留学生を本当にかわいがっていただければと思ひます。それでは、自己紹介も含めて林明輝さんに卓話をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

### ○「四川から福島へ留学の旅路と未来への展望」

二本松あだたらロータリークラブ所属

米山記念奨学生 りんめいき 林明輝様



白河西ロータリークラブの皆様、こんばんは。今年度から、二本松ロータリークラブ所属となった新規米山記念奨学生の林明輝（リン・メイキ）と申します。中国の四川省出身で、現在福島大学に通い化学を専攻しております。この度は奨学生卓話をご依頼をいただき、誠にありがとうございます。本日は「四川から福島へ留学の旅路と未来への展望」というタイトルで、わたくしのこれまでの留学の道のり、そして故郷である四川省の紹介、あと今の研究やロータリーでの収穫についてお話させていただきます。どうぞよろしくお願ひします。まず、わたくしの名前についてですがそこにも書かれていますとおり、苗字のリンは林、日本では林と呼びます。名前のメイキは明るく輝くと書きます。両親は私が明るい未来を歩んでいくことを願って明輝と名付けてくれました。そんな祝福を受け私は2000年に中国の四川省の北東部で生まれ、常に希望を胸に前向きに頑



張って努力してきました。そして、人生の視野を広げたいと思い社会的に包容力があり研究にも優れてる日本へ、日本で勉強が自分に最適だと感じ日本への留学を決意しました。2018年、四川省で高校を卒業して、2019年4月日本の山梨県甲府市にある日本語学校に入学しました。日本に来た当初は同じアジア圏の国とはいえ、文化も言葉も違い新しい生活に戸惑うこともありましたが、周囲の優しい日本の方々から助けられながら日本語の勉強に熱心に取り組み、2年間の日本語学校生活を通して徐々に自信を付け大学受験の準備に移りました。そして、2021年2月には福島大学理工学類に合格し山梨から福島へ引っ越しました。もし、何故留学先に山梨を選んだのと聞かれたら正直なところ深い理由はないのです。もしかすると、毎日富士山見たかったからと答えてしまうかもしれません。

初めて福島に来たときは冬の2月でした。そして、電車の窓から外を見ていると雪をかぶった富士山そっくりの山が現れて、凄いここからでも富士山が見えるんだ。日本は本当に平らなんだと感心した記憶があります。あの山は吾妻小富士だと知ったのは随分後のことでした。話は元に戻しますが、大学で化学を学ぶうちに徐々に再生可能エネルギーに興味を持つようになり、その関連の研究室を選びました。現在大学4年生として「補酵素NAD骨格を有する金属錯体を利用した水素生成反応」というちょっと難しいタイトルになりますが水素の合成に関連する研究を進めています。そして、今年の4月からは光栄にもロータリー米山記念奨学生として選んでいただき、多大なご支援のおかげで学業に専念できるようになりました。これがわたくしのこれまでの経歴となります。

さて、ここからは私の故郷である四川省についてお話したいと思います。四川というと、皆様はまず何を思い浮かべますか。料理、四川料理は結構日本では人気があります。あと何か。可愛い動物が、パンダです。辛くて真っ赤な四川料理と答える方が多いかもしれません。でも、広大で歴史のある四川省はそれだけではありません。四川省は中国の南西部に位置し、省都は成都市です。面積は約48万平方キロメートルで、なんと日本の1.3倍ほどの広さがあります。人口は全国で5番目に多く8千万人以上です。四川省は歴史や美味しい食べ物、そしてなんとといってもパンダで世界に知られています。まずは、四川の歴史についてですが、四川の省都である成都日本でも人気のある三

国志の舞台として有名です。四川省の略称、蜀。実は今から1750年前、中国を三分にして争う三国時代の一つの国の名前でした。蜀を作ったのは劉備という人。そして、その配下にいる名軍師の諸葛孔明。武将の関羽、張飛などがおり、大きく活躍しました。中国はもちろん日本にも多くのファンがいて、三国志を題材にしたアニメ、ゲーム、漫画、小説も数多く存在しています。三国志好きなら一度は訪れてみたいのは、成都市にある成都武侯祠博物館です。三国志の聖地とも呼ばれ、館内では劉備、諸葛亮、関羽、張飛らを祀った堂が並び、庭園を散歩しながら三国志の世界に浸ることができます。私は地元の人なのですが、一回も行ったことがないです。結構あるあるの話なんですけど、当地の人はあんまり観光地には行かないみたいです。でも、結構日本人撮られたビデオ結構見えて凄いなと思いました。三国志好きなら行ったらきっと感動すると思います。そして、四川省は観光地としても有名です。四川省には5つの世界遺産があり、九寨溝、黄龍、峨眉山、都江堰、そして、四川ジャイアントパンダ保護区群など多くの観光資源があります。特に、四川省はパンダの故郷と言われ中国のパンダの80パーセントがここで生息しています。四川ではパンダのお世話を体験できるボランティアプログラムもあり観光客に人気です。去年、上野動物園のシャンシャンが中国に返還され話題になりましたが、今では四川の保護施設で元気に過ごしてるそうです。

次に、いよいよ四川の食べ物についてお話したいと思います。担々麺、麻婆豆腐、青椒肉絲、そして回鍋肉。この中にお聞きになったことのある料理は皆様ありますか。一度はもしかしたら食べたことがあると思います。実はこの4つの料理には共通点があって、それは全部四川料理です。四川の8つの地方料理の中でも最も人気のある料理と言われてます。四川料理といえば、山椒と唐辛子がたっぷり入って真っ赤なイメージな料理を浮かべますが、すべての料理が激辛なわけではありません。回鍋肉、青椒肉絲などのご飯に合う家庭料理も沢山あります。でも、全体的に辛い料理が多いのは四川の成都盆地。ここ福島市が位置する盆地で湿気が多く、唐辛子に含まれるカプサイシンという辛みの成分の効果で汗をかきやすくし健康を保つためだと言われてます。ちなみに、私は四川出身なのですが、実は辛いものはあんまり得意ではありません。日本に来てからは更に弱くなったのですが、

福島駅の中にある人気の四川料理専門店では麻婆豆腐定食を頼むと、四川という辛さのレベルがあるんですね。四川人の私でも平日に挑戦するにはちょっと躊躇ってしまうほどです。このように四川は豊かな文化と美しい自然に恵まれ、経済や生活の水準がどんどん高くなっていき平和が続いてきました。しかし、その平和は2008年5月12日に起きた四川大震災で破られました。その日、マグニチュード8.9の強い地震が四川を襲い、死者6万9197人。行方不明者、1万8341人。負傷者、37万人を超える大災害となりました。その時に、日本が最も早く援助に駆けつけ、数多くの支援物資や義援金が届けられ、真っ先に国際緊急援助隊を派遣してくれました。日本からの応援と援助があったおかげで、多くの四川人が勇気を持ち、悲しみと恐怖を乗り越えることができました。あれから16年も経って四川は復興し発展してきました。今の四川省成都市は、中国の新一級大都市に昇進し、四川だけでなく中国の西部地域の、政治、経済、文化、交通の中心を担うようになり、益々多くの人々がこの地を訪れ住むようになっています。四川省の紹介は以上になりますが豊かな文化、美しい自然、美味しい料理が揃う四川へ是非一度訪れて、その魅力を感じていただければと思います。

ここからは、私は何故日本に来て、何故日本に興味を持ったきっかけについてお話したいと思います。あれは中学校の夏休みのある日でした。テレビで珍しく日本のアニメ映画が放送してました。物語が奇妙な展開が繰り広げられ、普段全然アニメ作品を見ない父でも思わず足を止め一緒に見てくれました。今まで見たことのない新鮮な世界が目の前で広がり、引き込まれるような魅力がありました。父と一緒に見たからか、当時の感動は今でも忘れません。ちなみに、その映画は世界中で有名な作品「千と千尋の神隠し」です。この出来事が心の中で日本へと繋がる扉の鍵となり、日本を知ろうとする最初のきっかけとなりました。その日から日本のアニメや小説を読むようになり、だんだん日本文化に興味を持つようになりました。高校に入ってから、日本に対する興味が最大となって、授業の間の10分など時間の空く時にはすぐ日本語の教材や単語帳を取り出してました。中国の高校は朝の7時から夜の10時まで授業が入っていて、とても日本語をちゃんと勉強できる時間はありませんでしたが、日本語を見るだけでも一種のストレス発散になっていま

た。あの時、ちょっと英語が嫌いだったので。あいにく、その日本語の教科書、その教科書の表紙が全部黄色なんです。一時期、よくクラスメイトに「あっ、林君、またイエローブック読んでいる」とからかわれてました。ちなみに、中国語ではイエロー、つまり黄色は色を表す以外に日本語のピンクみたいな意味があります。なので、イエローブックはつまりアダルト本です。こうして私は日本の事を徐々に知り研究のレベルが高く、他人に対して思いやりのある国、日本への留学を考え始めました。先程ご紹介したように私は現在、福島大学で再生可能エネルギーに関連する研究を行っていると話しました。これから具体的にどこでどのような事をしてるか。そして、何故してるかを皆様にお話したいと思います。福島大学の理工学類には、物質科学コースという専攻があります。物質という単語は簡単にいえば物のことを指してます。つまり、物質科学コースは物の構造や性質を学び、化学の学問が中心となります。そして、福島大学の理工学類では3年後期から研究室に配属されて卒業研究を始めるシステムとなっています。現在、私が所属している研究室では主に再生可能エネルギーに関わる研究が行っています。私の研究テーマはさっきも一度言いましたが「補酵素NAD骨格を有する金属錯体を利用した水素生成反応」というものです。聞き慣れない単語が多く使われているため、難しく聞こえるかもしれませんが、簡単にいうと生物の体内でエネルギーを作り出す化学反応の手助けをする物質。つまり、さっきの補酵素NADというものの機能を人工的に再現して、クリーンエネルギーである水素をより簡単に作る方法を探るテーマです。水素は結構工業的には今作られていて、一般的に今の太陽光を利用して水素を電分解して作る方法なんですけど、いずれもコストが高く高温高熱化で行わないといけないので、この補酵素の機能を真似すれば補酵素は生体内にいますので、もう常温常圧なのでその機能で作れば、ただ作り出すだけじゃなくて水素を運搬することが極めて危険。今はそのやっぱり圧縮して運搬するので、それは圧縮すること自体もお金かかるし、あと高圧の水素は極めて危険なので、この手法を利用して他の物質に変換して、例えばアンモニア類とかに変換してそれを運搬するという今そういう方向で研究がなされています。

何故このテーマにしたのかというと、水素はどこでも作れる理想的なエネルギー源であり、燃やしても二酸



化炭素を排出しないことに興味があったからです。きっかけは大学2年生の時の、再生可能エネルギーの授業でした。先生が石炭による第一エネルギー革命、石油による第二次エネルギー革命が世界を急速に工業化すると共に、戦争や環境問題をもたらしました。脱石炭、脱石油燃料の需要が最大に高まった今こそ、再生可能エネルギーが第三次エネルギー革命を起こすと話してくれました。この言葉に感銘を受け、福島県における再生可能エネルギーの導入状況や背景を調べるために、郡山にある福島再生可能エネルギー研究所。浪江町にある世界最大級の水素生成施設や、双葉町にある東日本大震災原子力災害伝承館や、東京電力廃炉資料館などを見学させていただきました。福島県は全国においても再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組んでおり、特に太陽光発電の導入量はここ10年間で約40倍に増加しています。その背景には、温暖化問題やエネルギー問題だけでなく、震災、原子力災害から福島の復興を成し遂げたいという地元の皆様の切実な思いが込められています。そして、私も福島で生活する一人として大学生の自分にできることを考えた結果、知識の力で何か貢献できないかと考えました。そこで未来エネルギーと呼ばれる水素の研究をおこなっている研究室に入り、化学の力で水素を作り出す研究を卒業テーマとして取り組むことにしました。ロータリー米山記念奨学生として早くも半年が経過しました。この間、奨学生として多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。この半年間は、経済的な援助だけでなく世話クラブでの卓話やロータリアンの方々との交流を通じて、スピーチ能力や社交スキルを向上させることができました。まず、奨学金をいただいたことでこれまで生活費を賄うためのアルバイトに費やした時間、より有効に勉強や研究に充てることができま

した。その結果、成績の向上と共に研究も順調に進み、同期や先生方からご評価いただきました。

次に、毎月行われる世話クラブの卓話を通じて、文章作成能力はもちろん人前で話すプレゼンスキルも向上したと感じています。普段、あんまり書くことのないスピーチ用の日本語の文体や語彙については、原稿作成時に考え辞書で調べたり友人に見せたりして、より自然な文章に仕上げる工夫をしてきました。また、発表時の声のトーンや話すスピードなどもより自然なプレゼンテーションができるように心がけてきました。この経験は今後の卒論発表や社会、会社でのプレゼンにも必ず役立つと思います。更に、ロータリアンの皆様から社会人としての基本的なマナーや人との接し方など、多くのことを学ぶことができました。名刺交換の仕方やビジネスでの礼儀作法など、大学では学べない貴重な知識を得ることができ大変感謝しています。他にも、多くの方々との繋がりを築けたこともこの半年間で得た大きな収穫の一つです。本日は私の留学の道のり。そして、故郷である四川省の紹介。今の研究とロータリーでの収穫についてお話させていただきました。皆様にお聞きいただき感謝申し上げます。今後も奨学金を有意義に活用しながら学業に励むだけでなく、ロータリーでの活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。大学卒業後もロータリーで学んだことを心に刻み、自分自身の成長と社会への貢献を目指して努力し続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

#### ■阿部克弘会長

林さん、今日は卓話有難うございました。ご存じだと思いますが、福島県は地震、津波、原発事故、そして風評被害と四重苦に苛まれて今も苦しんでおります。勉強をされているからわかると思うんですが、そして中国ではね、大きい声では多分言えないと思うんですが、あれは汚染水ではなく処理水で、処理水の放出に向けて福島県も日本も頑張っておりますのでどうかご理解ください。これからも頑張ってお勉強をして懸け橋になってください。

本日は有難うございました。

